

《現状や課題》

賃金／労働

- ・女性の賃金が安い（都市部の企業のリモート勤務では時給2,000円のところもある）
- ・職種によって男女間の賃金差がある（年金も少なくなる）
- ・生活できる環境（賃金）にないことが悪循環の始まりになっている
- ・会社のなかでの女性の仕事が決められている
- ・求人はあるが、働きたい場所がない（ポジション、時間、環境）
- ・飛騨の女性の就業率は日本一。働いていない人はほとんどいない
- ・家でも働ける産業の充実（IT系など） 例）徳島県神山町
- ・働ける職種や環境の多様化が必要
- ・子育てのことで急に仕事を休みにくい

意識

- ・男性・女性の固定的な考えが強い
- ・仕事、家庭において男性と女性の役割が決められている
- ・男性の育休取得や家事参加がすすむなど、40歳代以下はだいぶ考え方が変わってきている
- ・育休について、男性はやるべきこと理解しているのか？（育休は休みではない）
- ・若いパパ達に家事のノウハウを伝える場所がない
- ・子どもには男女差がないのに大人になると生じている
- ・保育園では、男の子・女の子の遊び…。小学生の方が良い
- ・町内活動は男性の参加者が多い、清掃、調理などは女性が担うことが多い

まちづくり

- ・高校への送迎が大変（特に冬）
- ・高校生のバス利用の負担が大きい
（丹生川での大洞までの送迎、バスの時刻表や路線図が見にくい）
- ・バス路線を増やし高齢者の買い物支援につなげてほしい
- ・遊び、アミューズメント、楽しみが必要
- ・女性が楽しめる場所が必要（結婚、子育て以外のコミュニティ）
- ・若い女性が地元に残りたいと思うことや、高山に住みたいと思う環境づくり
- ・子どもを「地域の宝」として大事にしていることを感じるので、もっとアピールしたらよい、移住者も増え女性の多様化が進む
- ・子育てに理解がある地域が増えてほしい
- ・移住者が地域と交流できる場が必要
- ・独身女性のコミュニティがない

子育て

- ・働く＝子育て支援が必要になってくる
- ・子育てしやすいまちが帰ってきたいまちになる
- ・産前・産後ケアの向上が必要

- ・産後ケアと家事代行がセットであるといい
- ・保育、介護などの困りごとをワンアクション（ワンストップ）で相談できる場所が必要
- ・支所地域では、子育てに関するサービスが全てまとまった場所が必要
- ・児童館、学童保育などの施設を改善してほしい
- ・利用度ではなく必要性で考えてほしい
- ・子育てしているときは、大人と話す機会がない
（お金の支援は増えているが、時間をつくる支援が足りない）
- ・高山市は医療など子育て支援が充実している。他の自治体と比べ一番よかった
（アピールしてもよいのではないか）
- ・地域の子どもとしてみてくれる環境が残っている
- ・子どもが自由に遊べる場所がある（交通、防犯など）
- ・地元で祖父母がいない方へのサポート（小学生になったときのサポート）があるとよい
- ・私立の小中学校がなく教育を選べない、育て方にこだわると市外を選択することもある
- ・18歳で人生が決まる気がする。（地元でほどほど、または、目標に向かって外で頑張る）

健康

- ・女性の方が平均寿命、健康寿命ともに長い
- ・メンタルも含め健康が大切

《1日目のまとめ》

- ・女性は、仕事、家庭、子育てなど役割や負担が大きいので、支援の充実が必要
- ・まちづくりの視点、賃金の改善、労働環境の向上、男女に関する意識の改革が必要
- ・心身の健康保持が大切
- ・高山は子育て支援がすすんでいるが、さらなる支援の充実が女性活躍につながる